

北國新聞社（2019年2月6日付 22面掲載）

【株式会社中央設計技術研究所 白山麓で5月に大会 山菜の文化 全国に発信 愛好者50人が視察 ジオパークをPR】

# 白山麓で5月に大会

## 山菜の文化 全国に発信



山菜文化の向上と発展に取り組む全国団体「山菜文化研究会」（東京）は5月、白山麓で「石川大会」を開催する。南加賀での開催は初めてで、全国から愛好者約50人が集い、霊峰白山が育んだ豊かな自然を視察し、山麓に伝わる食文化や歴史に触れる。地元の関係者は、貴重な地形や地質を持つ自然公園「ジオパーク」にも認定される地域の魅力を全国に発信しようと意気込んでいる。

### 愛好者50人が視察 ジオパークをPR

山菜文化研究会は毎年1回、北海道や長野、高知など全国各地で大会を行っている。県内初開催となった2006年の大会では、参加者が羽咋、中能登、穴水の3市町を巡り、植物や史跡の視察などに取り組んだ。

白山市は11年9月、日本ジオパーク委員会から「白山手取川ジオパーク」の認定を受け、豊かな自然や文化遺産の周知に取り組んでいる。石川大会実行委によると、白山麓では多種多様な山菜が採れ、食材としても重宝されるなど、特色ある文化が伝わっていることを受け、今年の開催地に選ばれた。

石川大会は5月16、18日、白山市河内町内尾の温泉施設「千丈温泉清流」を主会場に行われる。初日は総会と講演会を開き、2日目に国史跡鳥越城跡や同市瀬波の研修交流館「白山里」周辺を散策し、自生する山菜の数や種類を調べる。白峰の重伝建（重要伝統的建造物群保存地区）の町並みも見学し、山菜を使った料理も味わう。最終日は兼六園を訪れる。

毛利勝郎実行委員長は「白山で採れる山菜の素晴らしさを全国にアピールする場にしたい」と話した。

山菜文化研究会の石川大会が開催される「千丈温泉清流」＝白山市河内町内尾